

教育内容	専門分野 老年看護学	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	老年看護学概論	単位 1単位	老年看護の対象を理解し、老年看護の動向と機能と役割について理解する 近年の社会構造の変化を理解し、老年期における人々の保健・医療・福祉の動向と対策について理解する			
担当講師	清水 弘子 看護師臨床経験:8年以上 教育経験:10年以上	時間数 30時間				
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる					
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	高齢者の理解	高齢者とは 人口の高齢化 加齢と老化 老化の誘因・促進因子、予防 平均寿命・健康寿命, サクセスフルエイジング	講義	清水 弘子	基礎分野
	2	加齢に伴う変化	加齢に伴う身体的側面の変化(恒常性・疾病をめぐる特徴) 加齢に伴う社会的・心理的側面の変化 老年期の発達と成熟 発達課題			心理学 哲学 教育学
	3	高齢者とのコミュニケーション	コミュニケーションの特徴と援助 加齢変化(平衡覚・味覚・嗅覚含む), コミュニケーションの特徴 視力障害(老視・白内障) 加齢黄斑変性 難聴 特徴・個性に応じたコミュニケーション方法 *課題:高齢者インタビュー	講義		人間関係論演習 専門基礎分野 生化学 看護形態機能学 I
	4	高齢者の現況	高齢者の健康状態 高齢者の死亡 高齢者のいる世帯 高齢者の暮らし	講義		看護形態機能学 II 看護形態機能学 III
	5	高齢者の暮らしぶり	高齢者体験 福祉用具	演習		食事療法 リハビリテーション療法
	6		高齢者の多様性(高齢者インタビュー内容の共有から)	GW		保健医療論 公衆衛生学
	7	高齢者に起こりやすい事故	家庭内の事故 起こりやすい医療事故 転倒のアセスメントと看護			社会福祉 I 社会福祉 II 関係法規 I
	8	高齢者の権利擁護	セクシュアリティの理解 高齢者にとってのセクシュアリティの理解と対応	講義		関係法規 II 専門分野
	9		エイジズム 高齢者虐待 身体拘束 成年後見制度 日常生活自立支援事業			看護学概論 看護の思考過程 ヘルスアセスメント
	10	高齢者をとりまく保健医療福祉の動向	保健医療福祉制度の変遷 介護保険制度のしくみ(概要) 医療・介護総合確保推進大綱(地域包括ケアシステム) 認知症施策推進大綱 後期高齢者医療制度	講義		共通看護技術 I 家族看護学 老年援助論 I～III
	11					成人看護学概論 母性看護学概論 精神看護学概論 医療安全
	12	高齢者の住まい・居住施設	介護保険施設 サービス付き高齢者向け住宅(高齢者住まい法) 社会福祉施設	講義		地域・在宅看護概論 看護管理・看護倫理 看護の統合と実践
	14	治療・介護を必要とする高齢者と家族の看護	家族形態と機能の変化 介護の状況 家族への援助	講義		
	15	エンドオブライフケアとは	エンドオブライフケアの概念			
	15	老年看護の役割	まとめ 高齢者総合的機能評価	講義 (45分)		
16	終講試験					
評価方法	筆記試験					
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学	医学書院				
	系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患編	医学書院				
	国民衛生の動向					

教育内容	専門分野 老年看護学	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	老年援助論 I	単位 1単位	加齢変化による高齢者の症状・徴候を理解し、看護について学ぶ。			
担当講師	岸本 早央里 看護師臨床経験:10年以上 教育経験:2年以上	時間数 15時間				
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	運動器系の加齢変化と特徴的な疾患・看護	加齢による運動器系の変化 アセスメント 高齢者の基本動作とそれを支える環境 日常生活動作の評価	講義	桑田 五月	基礎分野 人間工学 人間関係論演習
	2	消化器系の加齢変化と特徴的な疾患・看護	加齢による消化器系の変化 アセスメント 食事・食生活の特徴と援助 低栄養 摂食・嚥下障害 身体機能・認知機能に応じた食事と食生活の支援	講義	馬嶋 きみ代	専門基礎分野 疾病治療論 リハビリテーション療法
	3		排便のアセスメント 便秘 下痢	講義	馬嶋 きみ代	食事療法 臨床薬理学
	4	呼吸・循環系の加齢変化と特徴的な疾患・看護	加齢による呼吸・循環系の変化 アセスメント COPD 心不全	講義	本江 真人	専門分野 看護学概論 共通看護技術 I
	5	腎・泌尿器系の加齢変化と特徴的な疾患・看護	加齢による腎・泌尿器系の変化 アセスメント 水・電解質異常 排尿障害 加齢による免疫機能の変化 尿路感染症	講義	本江 真人	共通看護技術 II 共通看護技術 III 経過に応じた看護技術 I 経過に応じた看護技術 II
	6	脳・神経系の特徴的な疾患・看護	脳梗塞 脳出血 麻痺 言語障害 失認 失行 無視 MMT	講義	本江 真人	老年看護学概論 老年援助論 I 老年援助論 III
	7	老年期における身体機能の変化 受療する高齢者の看護	老年症候群とは 加齢による検査結果への影響 外来受診・検査を受ける高齢者の看護	講義	岸本 早央里	医療安全 看護管理・看護倫理 看護の統合と実践
	8	終講試験			岸本 早央里	
評価方法	筆記試験					
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患編 医学書院					

教育内容	専門分野 老年看護学	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	老年援助論Ⅱ	単位 1単位	高齢者に起こりやすい症候・疾患とその回復過程を、高齢者の特徴をふまえ理解し、目標志向型の看護過程展開、および回復に向けた援助について学ぶ。			
担当講師	清水 弘子 看護師臨床経験:9年以上 教育経験:10年以上	時間数 30時間				
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	高齢者のコミュニケーションの特徴 高齢者のヘルスプロモーション	加齢変化とコミュニケーションの特徴、対応 健康日本21と介護予防 日常生活支援事業	講義	清水 弘子	基礎分野 人間工学 人間関係論演習
	2	高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	発熱 脱水 高齢者の痛みの特徴と腰痛 浮腫	講義	藤原 久子	
	3		骨粗鬆症 転倒時に骨折しやすい部位 脊椎圧迫骨折 大腿骨近位部骨折 変形性関節症	講義	藤原 久子	専門基礎分野
	4		感染症(肺炎 疥癬 ノロウイルス・嘔吐)	講義	清水 弘子	疾病治療論 リハビリテーション療法 食事療法
	5		嚥下障害のある高齢者の口腔ケア	講義	高西 弘美	臨床薬理学
	6		嚥下障害のある高齢者の口腔ケア	演習	高西 弘美	専門分野
	7	事例に基づいた看護過程展開	高齢者のヘルスアセスメントの基本	講義	清水 弘子	看護学概論 共通看護技術Ⅰ
	8		健康障害で入院加療が必要な高齢患者と家族への	演習		共通看護技術Ⅱ
	9		援助			共通看護技術Ⅲ
	10					経過に応じた看護技術Ⅰ
	11					経過に応じた看護技術Ⅱ
	12			(45分)		老年看護学概論 老年援助論Ⅰ
	13	シミュレーション演習	事例患者への看護計画の実施	演習	清水 弘子	老年援助論Ⅲ
	14					医療安全 看護管理・看護倫理
	15	まとめ				看護の統合と実践
16	終講試験	筆記試験		清水 弘子		
評価方法	筆記試験、レポート					
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患編 医学書院					

教育内容	専門分野 老年看護学	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	老年援助論Ⅲ	単位 1単位	多様な健康レベル・療養の場で生活する高齢者とその家族を総合的にアセスメントし、対象に応じた看護を展開できる能力を養う			
担当講師	岸本 早央里 看護師臨床経験:10年以上 教育経験:2年以上	時間数 30時間				
教育目標	2 さまざまな場暮らしに暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる					
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
学習内容	1	高齢者の生活を支える看護	清潔と衣生活の特徴と援助 高齢者の皮膚機能の特徴(老人性皮膚掻痒症を含む) 高齢者の清潔と衣生活の特徴 身体機能・認知機能に応じた清潔と衣生活の支援 スキンケア	講義	岸本 早央里	基礎分野 専門基礎分野 生化学 看護形態機能学Ⅰ～Ⅲ 病態生理学総論 臨床薬理学 食事療法 リハビリテーション療法
	2		生活リズムの特徴と援助 睡眠と生活リズムの特徴 身体機能・認知機能に応じた活動と休息の支援	講義	岸本 早央里	病態と治療Ⅰ～Ⅴ 社会福祉Ⅰ 社会福祉Ⅱ 関係法規Ⅰ 関係法規Ⅱ
	3		食事・食生活の特徴と援助 低栄養 摂食・嚥下障害 身体機能・認知機能に応じた食事と食生活の支援	講義	岸本 早央里	専門分野 看護学概論 看護の思考過程 ヘルスアセスメント 共通看護技術Ⅰ～Ⅲ 経過に応じた看護技術Ⅰ 経過に応じた看護技術Ⅱ 家族看護論
	4		活動の縮小による影響 廃用症候群 フレイル 閉じこもり 身体機能・認知機能に応じた安全な活動維持・拡大の支援	講義	岸本 早央里	基礎統合演習 老年看護学概論
	5		ボジショニング 関節可動域訓練	演習	田村 憲佑	老年看護学概論
	6	リハビリテーションを受ける高齢者の看護	高齢者リハビリテーションの特徴 リハビリテーションを受ける高齢者の看護	講義	田村 憲佑	成人看護学概論 成人援助論Ⅰ～Ⅴ 地域・在宅看護概論 訪問看護技術 訪問看護の看護過程 地域と看護 ケアマネジメント演習
	7		もてる力をいかした排泄介助・入浴介助	演習	田村 憲佑	医療安全 看護管理・看護倫理 看護の統合と実践
	8	手術療法を受ける高齢者の看護 高齢者への生活指導	高齢者に起こりやすい周手術期の反応と合併症 せん妄 ジェロロジー	講義	岸本 早央里	
	9	認知機能が低下した高齢者の看護	うつ うつ・認知症・せん妄との鑑別 認知症の種類・症状、予防 種類・症状 日常生活への影響 認知症高齢者と家族の支援	講義	岸本 早央里	
	10		認知症看護の基本姿勢(ユマニチュード)	講義	桑田 五月	
	11		認知症高齢者への対応	演習	桑田 五月	
	12	生活の場を変える高齢者の支援	入院時・入所時の援助 退院・退所支援 看護職間・多職種間の情報提供	講義	岸本 早央里	
	13	エンドオブライフケア	意思決定への支援、アドバンスケアプランニング アドバンスディレクティブ、リビングウィル 末期段階に求められる援助	講義	岸本 早央里	
	14	長期入院・入所高齢者の看護	居住施設における看護 長期入院・入所高齢者のアセスメント	講義	岸本 早央里	
	15		生活上の課題と援助 レクリエーション 多職種連携・アプローチ (介護職の専門性と役割の共有)	演習 (45分)	岸本 早央里	
	16	終講試験				岸本 早央里
評価方法	筆記試験					
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 病態・疾患論 生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図			医学書院 医学書院 医学書院(eナーストレーナー)		